

日仏マンガの交流

— ヒストリー・アダプテーション・クリエーション —

石毛 弓・柏木隆雄・小林宣之編 大手前大学比較文化研究叢書⑪

▶ A 5判・282頁／定価：本体2,800円(税別) ISBN978-4-7842-1802-8

2015年6月刊行予定

大手前大学で行われた日仏文化交流シンポジウムの成果。
日仏両国および海外のマンガ／バンド・デシネ文化について、各国の特質と相互の交流を、特徴・受容・翻訳などの視点から考察する。



◆◆ 予定目次 ◆◆

まえがき

[柏木隆雄]

第1部 マンガの世界—アメリカ漫画からマンガへ

物語マンガの発展

[小野耕世]

—日本・アメリカ・フランスで、どう異なるのかマンガ(漫画)という言葉について／「全世界まんが人気者新年大会」—海外物語マンガの日本への浸透／雑誌王国・日本で発展した物語マンガ／新聞と共に発展したアメリカの物語マンガ／男性読者を軸にひろがったフランス語圏ヨーロッパの物語マンガ

アジアにおけるマンガの特徴と現状

[倉田よしみ]

アジアにおける国際的なマンガイベント／アジアで活躍する漫画家たち／各地のマンガイベント／アジアにおけるマンガ事情

日本マンガの現状と特徴

[徳田俊之]

日本マンガの出版状況／外国のマンガと日本のマンガの違い／描き文字について／少女マンガについて／マン符について／質疑応答

試論：なぜ「未来マンガ」に未来はないか

[石毛 弓]

未来マンガの時代区分とその特徴／近年のサブカルチャーの情勢—データベース型の物語消費と「セカイ系」／エンキ・ピラルのリアリティ、セカイ系のリアリティ

第2部 バンド・デシネ—風刺から始まる

フランス漫画の原点

[柏木隆雄]

—グランヴィル、ガヴァルニ、ドーミエ
グランヴィル／ガヴァルニ／オノレ・ドーミエ

バンド・デシネの遺伝子とその進化論

[パトリック・オノレ]

バンド・デシネにおける3つの基本作画様式／バンド・デシネ革命／バンド・デシネとマンガのクロスオーバー

『タンタン』と『アステリックス』の日仏受容

—2つのバンド・デシネにみる〈ベルギー性〉と〈ガリア主義〉

[岩本和子]

『タンタン』と「ベルギー性」／『アステリックス』とフランス・ナショナリズム(=ガリア主義)

開かれた輪郭 [カトリーヌ・ムリス (青木祐介訳)]

大学で行ったこと／風刺報道／報道からバンド・デシネへ／文学と諸芸術／書体／影響

『坂道のアポロン』／Kids on the slope

マンガ共同翻訳のプロセス、可能性とその意義

[関口涼子・パトリック・オノレ]

フランスにおけるマンガ翻訳の実践／共同翻訳のプロセス／共同翻訳の意義

第3部 マンガ—読むひと・描くひと・訳すひと

対談：〈食〉を描くということ—漫画家の現場から

[うえやまとち・倉田よしみ]

全体討論

あとがき

[石毛 弓]

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	日仏マンガの交流		本体2,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1802-8
お名前	tel				
	e-mail				
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)		書店番線印		

谷崎潤一郎と世紀末 大手前大学比較文化研究叢書 1

松村昌家編

大手前大学で行われた日本比較文学学会全国大会のシンポジウムをもとに海外における谷崎評価も踏まえ、比較文学的見地から谷崎の文学に迫る。谷崎が世紀末のデカダンスの洗礼を受けたとされるノルダウの「世紀末」とクラフト＝エーピングの「マゾヒズム」の翻訳を収録。

▶A5判・212頁／本体2,800円(税別) ISBN4-7842-1104-7

***ヴィクトリア朝英国と東アジア** 大手前大学比較文化研究叢書3

川本皓嗣・松村昌家編

近代化過程における日本・中国・朝鮮と英国との文化交流誌。
【目次】ムスメに魅せられた人々/交差する両洋の眼差し/福沢諭吉におけるW・バジレット問題/ミルのOn Libertyは明治日本と清末中国でどのように読まれたか/キプリングと日本/『イラストレイテッド・ロンドン・ニュース』の東アジア 他

▶A5判・280頁／本体3,200円(税別) ISBN4-7842-1297-3

阪神文化論 大手前大学比較文化研究叢書 5

川本皓嗣・松村昌家編

歌枕に詠まれたいにしへの芦屋の浜、歌人や作家に愛され、その作品に影響を与えてきた芦屋・西宮など阪神間の風土、さらに開港早々慌ただしい歴史の舞台ともなった神戸——文学、歴史から阪神文化の神髄に触れる。【目次】歌枕の詩学/松瀬青々論/昭和初期の神戸における青年団運動について/A・B・ミットフォードと神戸事件 他

▶A5判・290頁／本体3,200円(税別) ISBN978-4-7842-1398-6

一九二〇年代東アジアの文化交流Ⅱ

川本皓嗣・上垣外憲一編 大手前大学比較文化研究叢書 7

1920年代の東アジア文化交流の様相を解明する第2弾。演劇・詩歌・文芸などをテーマに東アジアを総観する。
【執筆者】カレン・ローラ・ソーンバー/竹村民郎/程朝翔/周闊/劉岸偉/梁東国/趙怡/岩谷幹子/厳安生

▶A5判・274頁／本体2,500円(税別) ISBN978-7842-1584-3

一九三〇年代東アジアの文化交流

上垣外憲一編 大手前大学比較文化研究叢書 9

未開拓の部分が多い1930年代の東アジアの文化交流。当該各国の研究者を結集してその様相を解明する。世界恐慌のため鎖国経済化が進み、東アジアでは、満洲事変を皮切りに世界大戦へと発展する時代。戦争の影で見落とされがちな当時の文化交流を様々な視点から論じる。

▶A5判・258頁／本体2,800円(税別) ISBN978-7842-1687-1

***滅びと異郷の比較文化**

日本比較文学会編

第一線で活躍する比較文化研究者が「滅び」と「異郷」のヴィジョンを東西の文学・文化・美術に探る。
【目次】I 滅びのヴィジョン/滅びとエロス・滅びと再生 II 異郷のヴィジョン/遙かなる異郷・訪れた異郷・見出された異郷

▶A5判・516頁／本体14,000円(税別) ISBN4-7842-0821-6

動物・植物写真と日本近代絵画

中川馨著

「明治後期から太平洋戦争以前の日本における動物・植物写真」を考察範囲とし、写真集の歴史にもスポットをあてて概説する。またその「動物・植物写真集」が、美術資料として担った役割を解き明かすことにより、近代日本の「写真」と「絵画」との関連性を論究する。

▶A5判・256頁／本体5,000円(税別) ISBN978-4-7842-1598-0

国際デザイン史 日本の意匠と東西交流

デザイン史フォーラム編

日欧デザイン史上における「影響関係」「交流」を国別にまとめ比較通覧した国際交流史としてのデザイン史。各国の年表と概説的解説、生没年・原綴を付した人名索引、挿図約180点を収録。大阪大学大学院文学研究科美学研究室主催フォーラムの成果。

▶A5判・304頁／本体2,900円(税別) ISBN4-7842-1079-2

***視覚芸術の比較文化** 大手前大学比較文化研究叢書 2

武田恒夫・辻成史・松村昌家編

源氏物語からラファエル前派まで、日欧の古代から現代までの文学テキストと絵画・工芸などとの関わりを、まるで謎解きのように縋っていく。文学と視覚芸術の交差点。【内容】物語絵から物語図へ/文芸を着る/むさしの、そして『武蔵野』まで/ゴッガン作《テ・ハーンの肖像》に描かれた書物/マンチェスター美術名宝博覧会 他

▶A5判・256頁／本体2,800円(税別) ISBN4-7842-1187-X

夏目漱石における東と西 大手前大学比較文化研究叢書 4

松村昌家編

明治の文豪・夏目漱石の小説において、そこに織り込まれた西洋の概念と東洋の概念の葛藤、直接影響を受けた小説との比較、イギリスの事物の受容の様相など、気鋭の研究者たちによる漱石文学論。
【内容】小説美学としての<非人情>/『吾輩は猫である』におけるメランコリーと神経衰弱/奇人たちの饗宴/漱石の薔薇戦争 他

▶A5判・208頁／本体2,800円(税別) ISBN978-4-7842-1335-1

***一九二〇年代東アジアの文化交流**

川本皓嗣・上垣外憲一編 大手前大学比較文化研究叢書 6

大正デモクラシー下の日本では、好景気と安定した国際関係により、海外交流が新展開を見せた。明治期の交流にくらべて研究の事例も少なく、未開拓の部分も多い1920年代の東アジア文化交流の様相を、当該各国の研究者を結集することによって、明らかにする。

▶A5判・232頁／本体2,800円(税別) ISBN978-7842-1508-9

比較詩学と文化の翻訳

川本皓嗣・上垣外憲一編 大手前大学比較文化研究叢書 8

国際比較文学会(ICLA)会長であった故アール・マイナー氏の追悼と、同じくICLA会長を務めた川本皓嗣大手前大学前学長の退職を祝うため、各国から集った研究者の共同論集。詩歌の翻訳から民謡、仏教、獅子舞、ペルシャの涙壺まで、比較文化と翻訳にまつわる事象を様々に論じる。

▶A5判・286頁／本体2,500円(税別) ISBN978-7842-1637-6

日仏文学・美術の交流 大手前大学比較文化研究叢書10

「トロンコフ・コレクション」とその周辺

石毛弓・柏木隆雄・小林宣之編
明治27年から明治43年にかけて日本に滞在、多くの和本や美術品を蒐集、研究したE・トロンコフのバリ国立高等美術学校所蔵コレクションを柱に、日仏美術の交感を論じた7篇を日仏両言語で収録。カラーを含む図版を多数掲載。

▶A5判・284頁／本体2,800円(税別) ISBN978-4-7842-1745-8

***中国文人画家の近代** 豊子愷の西洋美術受容と日本

西楨偉著

豊子愷は民国期から人民共和国期まで世相人情を反映する抒情漫画や随筆の名手として身辺雑事から文学・美術・音楽などを題材に軽妙な語り口の散文を遺した。豊子愷が日本を通して西洋美術を受容したことの意味を問いつつ、20世紀日中知的交流の軌跡を検証する。

▶A5判・384頁／本体5,500円(税別) ISBN4-7842-1230-2

ジャポニスム入門

ジャポニスム学会編

19世紀後半から、西洋の芸術諸分野にわたって与えた日本の影響をやさしく読み解き、建築、音楽、写真、モードという絵画・工芸以外の分野におけるジャポニスムをも射程に入れ、ジャポニスムの全体像に迫る。

▶A5判・292頁／本体2,800円(税別) ISBN4-7842-1053-9

***ドイツにおける<日本=像>**

ユーゲントシュティールからバウハウスまで

クラウティア・テランク著/水藤龍彦・池田祐子訳
ドイツ美術における日本美術、ひいては横断的な日本=像の変遷をたどる。裾野の広い日本=像の提示を可能にした彩色写真や、ヨハネス・イッテンにおける「山水画」「南画」の影響に関する考察などは特筆。

▶A5判・312頁／本体3,800円(税別) ISBN4-7842-1194-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。